

第11回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

平成28年3月30日(水) 13:00~15:00

2. 場所

内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、片岡部会長代理、青木委員、折木委員、久保委員、白坂委員、鈴木委員、名和委員、仁藤委員、山川委員

(2) 事務局

小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、高見宇宙戦略室参事官、行松宇宙戦略室参事官、松井宇宙戦略室参事官、末富宇宙戦略室参事官、守山宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

(1) 宇宙関連2法案の閣議決定について

平成28年3月4日に閣議決定された「人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律案」及び「衛星リモートセンシング記録の適正な取扱いの確保に関する法律案」の概要について、資料1、資料2及び参考資料に基づき、事務局より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の意見・質問があった。(以下、意見・質問、事務局の回答等)

人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する法律案の条文のうち、公共の安全の確保などに関する許可制度を定める第22条が、宇宙安全保障部会で議論すべき箇所であり、この中で特に、宇宙システムに対するサイバー攻撃への対応について、国内の理解や検討が進むよう配慮すべきである。

仮にサイバー攻撃の蓋然性が高いならば、許可基準を内閣府令で定めることも検討課題となる。

衛星リモートセンシング記録の適正な取扱いの確保に関する法律案に関連して、リモートセンシング装置や記録の許可の閾値の考え方は、現状、どのようになっているのか。

仏国や独国の同種の法律等を参考として、画像のフレッシュネスも含めて検討している。

(2) 安全保障分野における日米宇宙協議審議官級会合、日仏包括的宇宙対話、第2回日EU宇宙政策対話の概要について

安全保障分野における日米宇宙協議審議官級会合、日仏包括的宇宙対話、第2回日EU宇宙政策対話の概要について、資料3~5に基づき、外務省より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の質問があった。(以下、質問、事務局等の回答)

安全保障分野における日米宇宙協議審議官級会合に関連して、米国の宇宙戦略ポートフォリオ見直しの内容はどのようなものか。

米国のアセットや資源の再配分、外国との連携等について、特に抗たん性の観点から、重要な課題として検討されているものである。

日仏包括的宇宙対話に関連して、欧州は中国の市場に対して積極的であるところ、欧州の中国に対する脅威認識はどのようになっているのか。

一般論として、仏国を含む欧州と我が国等との中国に関する脅威認識については、ずれがあるものの、宇宙やサイバー等の個別の分野における議論を通じて、認識を共有していけるものとする。

(3) 内閣府宇宙開発戦略推進事務局への一元化と宇宙基本計画(本文)の閣議決定について

内閣府宇宙開発戦略推進事務局への一元化と宇宙基本計画(本文)の閣議決定について、資料6に基づき、事務局より説明を行った。

以 上